

# 周産期医療安全・安心研究会

研究会代表：齋藤いづみ

(神戸大学大学院保健学研究科 母性看護学分野 教授)



## お問い合わせ先

神戸市灘区六甲台町1-1

(神戸大学連携創造本部・ひょうご神戸産学学官アライアンス内)

E-mail: hicc-perinatal@research.kobe-u.ac.jp

TEL: 078-803-5944

### 概要

「周産期医療安全・安心研究会」は、2010年9月に発足しました。

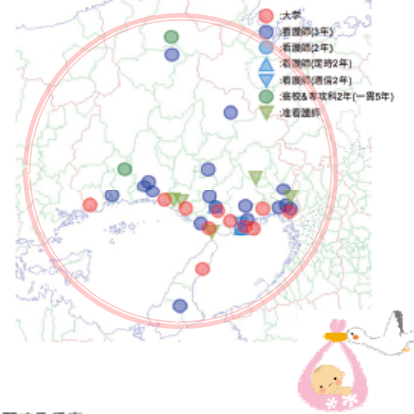
少子化が大きな問題となっている現代では、ごく普通の出産においても「安全・安心」の保証は益々大きな重要課題となってきました。このような社会において、これまで有機的・効果的な広域ネットワーク化が充分とはいえなかった、周産期・産科領域の医療に関する兵庫県の看護・助産関連機関/施設やそれら機関/施設従事者のネットワークをより確固としたものに再構築し、周産期医療に関わる複雑化した諸問題を明確化させ、各方面からこれら問題・課題の解決に取り組む場として研究会を設立致しました。安心で安全な良質なお産の実現を可能とする環境・場、仕組み、研究開発・技術開発体制などの整備を目指し活動しています。

そして、③社会システムへの提言といった観点での課題克服や解消策を見出すべく協議を進めています。特に、兵庫県内には、11看護系大学や28の看護師や助産師を養成する教育機関が存在し母性看護助産学教育・研究に関連した専門人材の集約がなされています。さらに、瀬戸内から日本海に面した地域および島部まで存在する、我が国の周産期医療環境の縮図地勢モデルとなり得る機能的なネットワーク構築が目指せます。

### 今後の取り組み

周産期・産科領域の医療に関する兵庫県下の助産学・看護学関連機関のネットワークを早急に確立し、周産期医療に関する諸問題・課題の全般的な抽出と対応策の立案、さらには、その解決への積極的な取り組みを実施し、「安心で安全な良質なお産」の実現を可能とする場や仕組みの整備を実現することを目指しています。具体的な第1歩として、研究会のネットワークを利用した共同的な実証研究を

### 兵庫県内の看護系大学・看護師等学校養成所



実施すること、これらの成果を研究内に留まらず、妊産婦や家族、さらに地域社会全体へ発信可能な、より広範な周産期医療ネットワーク体制を次年度に掛けて構築する予定です。

### 研究会参加者の所属機関

- 神戸大学・大学院(保健学・医学・附属病院)
- 兵庫県立大学
- 近大姫路大学
- 太成学院大学
- 神戸看護専門学校
- 柏原看護専門学校
- 兵庫県看護協会
- 日本助産師会 兵庫県支部
- 加古川市民病院
- 市立加西病院
- いなお助産院
- 野の花助産所
- 毛利助産所
- 明石ホットスポット(子育て支援)
- 個人助産師等・その他

### これまでの取り組み

「安全で安心できる満足度の高いお産の体験」を希望する現代社会の要求に対して、産科医師や助産師の減少・偏在、分娩施設の集約化、女性の社会進出による初産高齢化現象をはじめとする複雑化した近年の周産期医療に関する諸問題を抽出し、①研究技術開発、②教育や人材育成、

### アプローチ例①

## エビデンスに基づいた安全・安心な分娩の実現

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	休日
一日当たりの分娩数	0.82	1.20	1.34	0.87	1.22	0.83	0.79
助産師一人当たりの分娩数	0.64	1.04	1.17	0.77	1.04	1.05	1.46
母性搬送数	0.60	0.60	0.91	1.22	1.83	0.91	0.91

☆対平均値集計

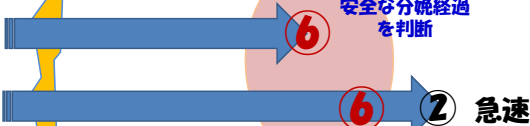
## データに基づいた助産師・看護師の配置を実現

### アプローチ例②

## 分娩推移における判断基準の標準化による安全・安心な分娩の実現

### 科学的な裏付けに基づいた技術の確立

未熟助産師でも安全な分娩経過を判断



子宮口開大 5, 6cm時に実施 → 以後の分娩進行の予測

### アプローチ例③

## 分娩特性に基づいた対応・科学的分析に基づいた安全・安心な分娩の実現

### 各群の総看護時間一覽

全事例 (n=51)	総看護時間 m (h)
初産婦合計 (n=23)	329.4 ± 134.4 (5.4)
経産婦合計 (n=28)	409.9 ± 150.5 (6.8)
正常群初産婦 (n=15)	263.3 ± 70.4 (4.3)
経産婦 (n=24)	372.7 ± 124.9 (5.7)
異常群初産婦 (n=8)	256.8 ± 67.9 (4.2)
経産婦 (n=4)	479.9 ± 177.2 (7.9)
経産婦 (n=4)	302.3 ± 83.4 (5.0)

### 正常群の分娩各期の看護時間、初産婦と経産婦の差

	初産婦 (n=15)	経産婦 (n=24)	
1期	197.5 ± 114.8	109.5 ± 59.5	*
2, 3期	59.1 ± 29.4	30.2 ± 18.2	***
4期	116.0 ± 95.0	118.1 ± 21.8	
総看護時間	372.7 ± 124.9	256.8 ± 67.9	***

\* p<.05 \*\*\* p<.001

## データに基づいた分娩時看護の質と量の再検討

## 患者に応じた分娩特性に対応した「個の安心分娩」の実現

## 助産外来・院内助産のクオリティー保証による安全・安心な分娩の実現

## ガイドラインと国際標準対応と次世代の助産師教育への応用

